

2014（平成26）年度 特許情報普及活動功労者表彰

一般財団法人日本特許情報機構理事長賞 【特許情報活用普及功労者】

日本パテントデータサービス株式会社

代表取締役社長 仲田 正利

功 績

日本パテントデータサービス株式会社は、1988年に海外向けの特許情報サービス機関として設立されました。

1992年の特許庁によるCD-ROM発行を契機として、検索キー項目と公報データ等を格納した技術分野別のCD作成・販売サービス（JP-ROM）を開始、PC用の専用ソフトウェアを提供する他、総合特許情報システムを多数販売されました。

1998年にはインターネット経由の特許情報提供サービス（JP-NET）を開始し、特許全種類の公報全文を始め商標・意匠・審決公報、審査経過情報を提供しています。また、最近では世界各国の公報を英語で蓄積し、横断検索、ファミリー検索を可能にした外国データベースにも力を入れています。2003年からは検索のみならず企業内の情報発信、情報共有機能を持つサービス（NewCSS）の提供も開始しました。これらの先駆的かつ継続的な取組は、特許情報の活用、普及に多大な貢献をされました。

現在では特許事務管理システム（PATAS）他、様々な事業を通してより一層の特許情報の活用促進に取り組まれています。

この度は技術情報サービス協会（ATIS）のご推薦を受け特許情報普及活動功労者賞を賜ることになり、光栄に思うと同時に関係各位に厚く御礼申し上げます。

当社は創立26年と、知財業界ではまだ新参者ではありますが、インターネット時代に応えるべくいち早く提供を開始したJP-NET検索システムはおかげさまで3,000社のユーザーを持つデータベースとなりました。これまでの皆様のご支援に感謝すると共に、今後も知的財産戦略の総合サポートを提供する会社として、調査、知財研修など関連事業を含むお客様の知的財産支援事業を担うサービスで一層の努力を重ねてまいります。

今回の受賞の喜びを多くのお客様や関係者の方々と共有できれば幸甚に存じます。

